

第四回定例会一般質問(抜粋) いじめ対策、不登校・非行対策の充実強化を



渡辺道仁議員

いじめ防止対策では小中一貫教育の有効活用が必要。また、不登校対策と新たな適応支援教室の期待される効果は、不登校や非行などの対策では、学校と福祉などの関係機関を繋ぐスクールソーシャルワーカーの充実を図る必要がある。

一年で増加する傾向が続いており、小中学校の連携充実による、根絶に向けて取り組んでいく。また、適応支援教室では、学習室や相談室などの整備、新たなプログラムの活用、児童生徒の学校への復帰を促進していく。スクールソーシャルワーカーの増員を含めて支援体制の強化を検討していく。

中期財政計画について LRT事業について 人口減少対策について 市営住宅の管理運営における民間活力の導入について 今年のジャパンカップサイクルードレースにおける取り組みについて 仮称大谷スマートインターチェンジの整備について 大谷石建造物の保存・活用について

第四回定例会一般質問(抜粋) LRT整備に、市街地開発組合基金の活用を



増淵一基議員

市街地開発組合の基金は清原工業団地に関する新交通システムの開発に使うために設けられた。本市東部地域の朝夕の渋滞も解消されていない。基金を活用し、LRTの整備を。また、現在策定中の「芳賀・宇都宮東部地域公共交通網 形成計画」の基本的な考え方、検討状況は。

佐藤市長 市街地開発組合の財政調整基金残高は102億9千7百万円余。積極的な活用を組合、県に要請していく。「形成計画」では、LRTの導入、公共結節機能の強化、バスネットワーク再編、地域内交通の導入、ICカードの導入などを想定。本年10月を目途に形成計画を策定し、「軌道運用高度化実施計画」など必要な計画を策定していく。

その他の質問項目 市長の政治姿勢について 中心市街地のにぎわい創出 中央卸売市場 地方公会計制度の推進について マイナンバー制度について 保健福祉行政について 夜間休日救急診療所における市民利便性向上 地域における介護予防 紙おむつ購入費支給申請 第二次環境基本計画について

第四回定例会一般質問(抜粋) 自転車駐輪場の整備促進と収納施設の設置を



馬上剛議員

まちなかの環境整備について、自転車駐輪に対する考え方は。また、自転車利用者の利便性を考え、駐輪場のヘルメットなど収納設備の設置を進めるべき。

づくりの寄与するものと考えている。地元商店街と連携を図り駐輪環境の整備に努めていく。また、市営自転車駐輪場のコインロッカー設置を検討していく。

その他の質問項目 市長の政治姿勢について 未来の宇都宮 LRTの導入 安全安心なまちづくりについて 街頭防犯カメラ設置補助

第四回定例会一般質問(抜粋) 都市計画変更について、関係権利者の理解を



黒子英明議員

上河内地区都市計画の変更について、現在の状況と今後の予定は。また、ネットワーキングコンパクトシティ形成において、上河内地区はどのようなまちづくりを進めようとしているのか。市街地調整区域には既存権利の届け出による移行設置があるが、関係権利者への対応は。

佐藤市長 関係権利者の合意形成が概ね図られてきたところであり、今年度末を目途に都市計画決定手続きを進めていく。また、上河内地域自治センターを中心とした地区の拠点形成を推進し、周辺の自然環境や営農環境との調和を図りながら、市域一体となつたまちづくりに取り組んでいく。市街地調整区域関係権利者への対応については、個別

相談会や全権利者へ通知発送などにより、ご理解いただけるよう周知を徹底していく。その他の質問項目 市長の政治姿勢について 農業政策について スポーツ選手のセカンドキヤリアについて 生活保護について 改正フロン法に伴う、フロン類の排出抑制対策について

第四回定例会一般質問(抜粋) たくましい宮っ子の育成と学習への支援を



篠崎圭一議員

たくましい宮っ子の育成のため、苦しいことや出来ないうことへの挑戦、その苦しさを乗り越える経験をさせるなどの方法も必要。また、貧困の連鎖の解消は教育以外にない。学ぶ気持ちを持った子どもへの教育の平等をどのように図ろうとしているのか。

える経験などを積み重ねることとは重要。学校・家庭・地域が一体となって取り組みを推進していく。また、放課後子ども教室における体験活動や交流活動、退職教員や大学生を活用した学習支援、中学生を対象とした教職経験者などによる学習指導など、今後とも学習支援の充実を図っていく。

市長の政治姿勢について ネットワーク型コンパクトシティ構想 安全安心なまちづくりについて 消防署への二輪車導入 多様性のある雇用と流動性について 元気な高齢者の社会参加 促進 ほか 南部地域における交通及び道路整備について

第四回定例会一般質問(抜粋) 市立国本西小学校の存続を



内藤良弘議員

市立国本西小学校は学校・家庭・地域が一体となって子どもの成長を支援している学校だが、近年児童数の減少が著しい。国本西小の存続について市の考えは。

とも踏まえ、将来、複式学級が見込まれる場合には、地域の皆様の意向も確認しながら、小規模特認校制度の導入について検討していく。

その他の質問項目 北関東中核都市連携事業について インバウンド観光の推進 プルベ走行会 自転車のみちづくりについて ジャパンカップサイクル口

水越教育長 学校は地域の教育を行う場であるとともに、地域コミュニティの核としての重要な役割を担っているこ

水越教育長 学校は地域の教育を行う場であるとともに、地域コミュニティの核としての重要な役割を担っているこ

北西部の農業・農村の活性化について はじめてこはん事業について 小・中学校における基礎学力の向上について